

あなたに薦める『この一冊』6月

『図書館戦争』 有川浩【著】 角川書店

国語教諭 高木 ほのか
高校1年10組 担任



有川ひろ豆知識

高知県生まれ。2004年、第10回電撃小説大賞〈大賞〉受賞作『塩の街』でデビュー。……『図書館戦争』シリーズは本編完結後もアニメ化などで大ブレイクを続け、2010年には『フリーター、家を買う。』（幻冬舎）がドラマ化、2011年には『阪急電車』（幻冬舎）が映画化されるなど、その作品は多分野にわたり話題を呼んでいる。……『シアター!』（メディアワークス文庫）『キケン』『ストーリー・セラー』『ヒア・カムズ・ザ・サン』（新潮社）など著書多数。
出典:「有川浩 | 著者プロフィール | 新潮社」
<https://www.shinchosha.co.jp/writer/3364/>

みなさんは「才色兼備」という四字熟語を知っていますか？ すぐれた才能と美しい容姿を兼ね備えている、という意味の女性に対する褒め言葉です。この「才色兼備」という言葉、一部のメディアでは、ジェンダーの観点から不適切な用語とされているそうです。

近年、多種多様な観点から、不適切な表現とされる言葉が増加しています。ではある日突然、『表現の自由』が認められない世界になってしまったら。みなさんはそんな世界を想像することができますか。

舞台は、公序良俗を乱し人権を侵害する表現を取り締まる、「メディア良化法」が施行された世界。検閲行為が合法とされ、テレビや本、様々なメディアから、どんどん言葉が狩られていく。そんな言論弾圧に対抗できる、唯一の組織である「図書隊」。本を、表現の自由を守るため、一人の女性が図書隊に入隊する……。

主人公の成長や恋愛が展開の主軸となっていて、中高生にも読みやすい内容です。しかし読みやすさの陰に、大きく重いテーマがあります。言葉や表現の規制が正しいかどうかを問いたいのではありません。まずは関心を持つこと。大切な人に、大切な想いを伝えるときのために、まずは“言葉”を大切にしてほしい。そんな思いで、この本をお薦めします。

★ 図書館所蔵同著者の作品 ★

・ イマジン? 幻冬舎



想像力は、あるかい？
憧れの映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助（27歳）。聞き慣れない業界用語が飛び交う現場に戸惑う日々だが、そこは現実と物語を繋げる、魔法の世界だった。「必死で知恵絞って想像すんのが俺たちの仕事だ」やがて良助は、仲間たちが作品に傾ける熱意に、焦がれるような思いを募らせていく——。
走るしか能のない新米、突っ走る！ 行き先は、たぶん未来。
「有川浩」改め「有川ひろ」の、お仕事小説&ベタ甘ラブコメ。

・ みとりねこ 講談社

稀代のストーリーテラーが綴る7編、7匹の物語。
時間は有限。出逢いは無限。

猫の浩太は、一家の長男・浩美と生まれたときからずっと一緒。もう20歳を超えるけど、年齢を感じさせないピカピカの毛並みのご自慢。いつも醤油にひたした肉球で、テーブルクロスにハンコをペタペタ。さて、念入りな肉球ハンコのわけは——？
きっとあなたの宝物になる。猫とあなたの7つの物語。



★ 高木 ほのか(タカギ ホノカ)先生の紹介 ★

- * 担当科目・クラス
現代の国語(高1年2・9～14組)
- * 自分の中学・高校生活
友人との何気ない時間を何より大切に、楽しく過ごしていました。
- * 本校生の印象
明るく、元気。
- * 感動した本
『春琴抄』 谷崎潤一郎【著】 新潮社
- * 読むことが望ましい本
『人魚の眠る家』 東野圭吾【著】 幻冬舎



編集後記：本校図書委員POPでも人気の作家「有川浩」は、2019年に「有川ひろ」に改名しました（表紙の名前や豆知識欄で気づいた人もいたかも？）。心機一転、今後も筆を執り続けていただきたいですね。